

立命館大学国際平和ミュージアム ギャラリー企画展

# ART FOR RESILIENCE



©Amer Nasser

会期：2026年4月10日（金）～5月5日（火）

9:30-16:30(入場は16:00まで)

会場：立命館大学 国際平和ミュージアム 1階企画展示室

〒603-8355 京都府京都市北区等持院北町56-1

休館日 日曜日、祝日の翌日(4/30)、ただし5/3～5は開館

入館料：大人400円、中学生・高校生300円、小学生200円

※障害者手帳・被爆者健康手帳・戦傷病者手帳をお持ちの方は、ご提示いただきますと免除になります

バリアフリー：スロープ、車椅子の無料貸し出し、オストメイト、授乳室、救護室、補助犬、AED

## パレスチナをめぐる記録と証言 Records and Testimonies from Palestine



立命館大学国際平和ミュージアム

Kyoto Museum for World Peace, Ritsumeikan University

主催：Gaza.Signal of Life 実行委員会

後援：立命館大学 国際平和ミュージアム

協力：駐日パレスチナ常駐総代表部、ウトロ平和祈念館、

AWAZU HOUSE ART CENTER、京都桂山寶蓮寺

# Art for Resilience - パレスチナをめぐる記録と証言 -

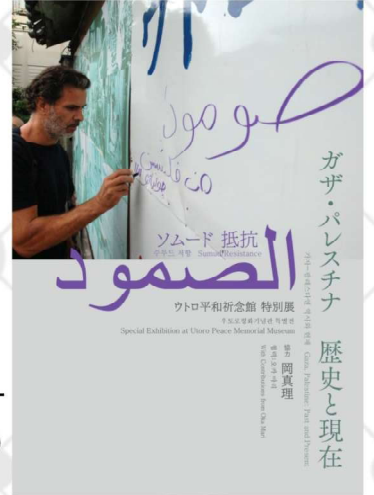
本展示は、パレスチナに関する歴史資料・写真・ポスター・映像によって構成されている。展示は、入植以前のパレスチナの風景から始まり、ナクバ、占領の構造、そして個人の証言を経て、現在へと至る。ここに示されているのは、特定の解釈ではなく、それぞれの時代に残された記録である。



## 存在

### 入植以前のパレスチナ

20世紀初頭のパレスチナの風景と生活  
駐日パレスチナ常駐総代表部 所蔵



## 断絶

### ナクバ (1948)

パレスチナ社会の断絶  
ウトロ平和祈念館『ガザ・パレスチナ  
歴史と現在：ソムード 抵抗』展より



## 社会

### 社会と表現

ポスター、運動、表現  
栗津潔、A3BC、他



## 証言 1

### 侵攻以前のガザ

Mohammed Salem の写真による生活記録



## 証言 2

### 現在：2023年以降ガザ

Amer Nasser によるスマートフォン写真と映像



Instagram

information:gaza.signaloflife.jp@gmail.com